

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力については、尼崎市の平均値に近づいて欲しい。 ・算数、理科の同室複数授業は大変良いと思います。 ・明城漢字ドリル、漢字検定は継続して意欲的に取り組まれている。・漢字ドリルの活用及び検定テストを実施していることが学力向上に貢献しているので今後とも続けていただきたい。 ・家庭での学習が足りないように思いますので、保護者の協力、理解が必要だと思います。 	3
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳養育や縦割り活動を通じて、思いやりのある人間関係を作っていくことは大切であり、これからも続けてほしい。 ・1年から6年までの縦割り活動(清掃やなかよしラリー)を通じて思いやりや責任感を育むことができています。 ・スマホ等による活用講習会や情報モラル研修会等を保護者と共に行ったことは、良かった。 	3
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における家庭での基本的な生活習慣(あいさつ、早寝、早起き、朝ごはん)の大切さへの取り組み強化を。 ・給食は、最近の保護者が作らない和食(薄味)を提供しているのが大変良いことだと思います。 ・体育大会やマラソン大会等体力向上に力を入れていて、保護者も楽しみにしていることがよい。 	4
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団登校を行うことや、職員やボランティアの協力により児童の安全は守られているように感じた。 ・今年、「1. 17は忘れない地域避難訓練」を行ったので、地域としても防災の意識ができた。 ・年3回実施で職員と児童の防災に対する意識を高めている活動は評価できる。 	3
<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活気に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながり、開かれた学校づくりでは、地域に出での活動(ゼロ精工見学、明城遺産など)や授業参観、オープンスクール、児童会活動(なかよしラリー、明城まつり、交通安全感謝の会)などを通じて地域との交流を進め、地域の方々为学校に足を運びやすい環境ができています。・オープンスクール、図工展、明城まつり等地域の者が学校に訪問しやすい環境にあると思います。 	3
<p>■教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つの「あ(あいさつ、あつまり、あとしまつ)」を児童に指導するのも必要ですが、保護者への三つの「あ」運動がより必要と思われる。 ・小学校で学習についていけなくなると中学校に入学してからも付いていけなくなるので、特に算数と理科の同室複数授業は評価できます。 	3
<p>■研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の時間を計画的に進め、指導方法も研究されているのがよかった。 ・今後も道徳教育の継続が必要である。 ・地域、学校、家庭での道徳教育及び実践が必要。 	3
<p>■</p>	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	<p>評価Ⅳ</p>
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B